

## 第2回専門会議でいただいたご意見に対する計画素案

**1. 各地域で実際に活動中の支援者にアンケートを実施** \*関連する目標 1-①  
→各会議等でアンケート、インタビュー等の協力を依頼し、支援者の参加動機を確認し、区民に周知啓発する。

**2. 地域福祉の取組内容の情報発信を強化** \*関連する目標 1-④  
→地域福祉の取組内容の具体が見つらいため、広報すみよしやSNSを用いて、地域福祉ビジョンの内容・事業周知や報告をより積極的に発信し、地域福祉の認知度を高める。

**3. 地域座談会への参加依頼や、地域座談会内での交流の場の協議依頼**  
\*関連する目標 1-②  
→専門会議委員にも地域福祉を推進しているという当事者意識をより高めてもらうため座談会への参加を依頼する。\*参加者の仲介も  
→地域住民が世代を超えて出会い、交流できる居場所の活用についても各地域座談会で積極的に議論してもらう。

**4. 子ども中心のイベント開催の支援** \*関連する目標 1-③  
→中学生に、理想の避難所等について話し合ってもらえるような防災イベントに参加してもらい、活躍の場を提供するとともに、地域との交流を深める。  
→地域が行う子ども対象のイベントについては、企画段階から子どもが参加できるようにするなど、子どもの意見反映に努めるよう依頼する。

**5. 区長と子どもたちとの対談** \*関連する目標 2-①  
→第2回専門会議では出ていないが、地域福祉ビジョンの基本目標 2-①における意見表明権や自己決定権をシンボリックにアピールする取組として、子どもたちが区政に意見表明する機会を設ける。

**6. 大学生等の社会課題を解決するための事業支援** \*関連する目標 1-②ほか  
→様々なコミュニティーも巻き込み、コミュニティー同士の集まる場を創出する。  
→大学生が企画した取組を、区民まつり等の既存のイベントで報告または実践できる機会を新たに創る。

【参考】

基本目標1 ちがいとつながりを力にして、一人ひとりがかがやけるまちづくり

- 1-① 自分と地域を重ねて、しあわせを考えられる住吉区に  
★自分のやりたいこと、できることから無理せず活動に参加してみよう。
- 1-② 地域のしあわせをいろいろな人と話しあえる住吉区に  
★自分のまちをこんなまちにしたい、を身近な人々と話しあおう。
- 1-③ 助け助けられ、お互いさまを実感できる住吉区に  
★頼り上手は頼られ上手、お互いさまの関係を増やしていこう。
- 1-④ 地域のしあわせ「今」「これから」がみんなに見える住吉区に  
★自分のまちでどんな活動が行われているか探してみよう。

基本目標2 気になる人をまるごと、支えあい気にかけあうしくみづくり

- 2-① すべての人が自分の意見を言える、それが大切にされる住吉区に  
★自分の思いも大切に、相手の思いも大切にしよう。
- 2-② たくさんの「気になるなあ」が支援につながる住吉区に  
★気になる人ともつながって、気にかける関係になろう。
- 2-③ 「木も見る、森も見る」まるごとを話しあい、支援が進む住吉区に  
★心配ごとはいろんな人と共有して、みんなで相談していこう。
- 2-④ それぞれができることから、大きな力を生む出せる住吉区に  
★支援者同士も、顔合わせから力をあわせる関係になろう。